

進路だより



富岡特別支援学校
移行支援部 No. 2
令和7年7月10日(木)

PTA進路研修会「本校卒業生とご家族の話を聞いて、将来へのイメージを広げよう」がありました。

講師に本校卒業生と、卒業生のお母様お二人にお越しいただき、これまでから現在の生活、将来のために備えていることなど、詳しくお話ししていただきました。一部をご紹介します。

幼少期から学生時代の思い出

- ・風邪をひきやすく、肺炎になり毎月のように入院し病院でお世話になっていました。24時間の点滴、鼻の吸引、偏食など…つらいことも多かった幼少期でしたが、持ち前のスマイルで乗り越えてきました。
- ・小学校・中学部では、体力を向上させたい、自分でしっかり歩けるようになってほしいという親の思いから、父親と歩いて登校しました。
- ・高等部では日常生活の自立を目標にし、3年間寄宿舎でお世話になりました。
- ・修学旅行と学習発表会が思い出に残っています。



- ・幼少期は噛みつきがひどく、いつでも噛めるよう服に虹色のチューブを付けて登園していました。
- ・高等部2年時、原因不明の貧血から、骨髄の検査や輸血のため1週間入院しました。コロナ禍で親の付き添いできませんでした。最初は採血注射ができず、大人3人で押さえつけていましたが、自ら腕を出し、注射ができるようになりました。



きょうだいとの関係について

- ・幼少期の頃は、姉には寂しい思いをさせてしまうことが度々ありました。今は帰省すると一緒に出かけてくれます。弟は、小学校高学年から一緒に過ごす時間の共有ができていたように思います。中学生になると、生活の中で気になることを柔らかに指摘してくれます。
- ・幼少期の頃は、姉に手を出したり姉の大切な物を壊したりして心配しましたが、今は本人が成長し落ち着きました。姉は母の不在時に入浴介助をしてくれます。弟は母の不在時に、本人のそばで寝てくれます。

現在の仕事や利用している事業所について

【富岡市役所（会計任用職員）】

- ・月曜～金曜9：00～16：00。運転免許と車はありますが、運動のため徒歩で通勤しています。
- ・パソコン上で毎日のスケジュールを示してもらっていて、自分で予定どおりに仕事しています。数週間先まで予定が決まっており、それ以外の隙間時間でやることは、その都度教えてもらっています。
- ・仕事内容は、研修やイベントの会場設営、資料の印刷作業、アンケート集計、編集、パソコン入力作業、選挙の準備・片付け、書類整理、ファイリング、草むしり、ゴミまとめ、ゴミ出し等。
- ・仕事で楽しいことは、会場準備など、一人でできないことを、職員の皆さんと一緒に作業しているときです。仕事で大変なことは、力仕事です。重い物を運ぶと、足腰にきます。



【株式会社ワンセルフ ワンセルフくろかわ（生活介護）】

- ・週3日利用。通所方法は、行きは母の送り、帰りは送迎サービス利用。
- ・月ごとのスケジュールに沿って自立活動や余暇活動をしています。
- ・事業所の方とはノートや送迎時の会話で連絡をとっています。



【社会福祉法人青嵐会 せいらん（生活介護）】

- ・週3日利用。通所方法は、事業所の送迎バス利用。バス停までは、母の送迎。
- ・作業内容は、芯入れ、ヒートシンク並べ、紙類やラップの処理。工賃をもらっています。
- ・高等部で現場実習をしたことを覚えていたので、卒業後はスムーズに移行できました。



【株式会社ソレイユ ジョブカラフル松井田（就労継続支援B型）】

- ・月曜～金曜通所。送迎サービス利用。
- ・仕事内容は、レタスの水耕栽培、納品、販売、果樹園の除草作業。余暇活動ではたくさん歩いています。
- ・学生生活よりも帰宅時間が早くなり、私用の時間が増えました。自分で洗濯をしたり、入浴で気分をリフレッシュしたりしています。



障害基礎年金について

- ・受給しています。申請するにあたり医師の診察、診断書が必要なため、主治医に具体的にいつ頃伺えばよいかなど早めに相談しました。
- ・保護者が書く申立書は、幼少期から思い出して記入するのが大変でした。
- ・年金は受給していないので、なるべく無駄遣いしないようにしています。給料の一部を毎月家に入れていて、他は貯金しています。



性に関すること

- ・父親が学校での研修会に参加しました。自宅では父親から話をして関わっていることが多いです。
- ・人前では触らない（トイレ、自宅の風呂、自分の寝室のみ）。
- ・外出先などで落ち着かない様子があると、多目的トイレに連れて行きます。必ずドアの外まで同行しています。

親なき後に備えていること

- ・グループホームへの入所の申し込み、空き待ち
- ・施設入所
- ・成年後見人の準備
- ・健康な体を維持、生活習慣病の予防、衛生面（疾患予防、虫歯予防）、社会生活でのマナー



困った時に頼ったり相談したりしている人や、利用しているサービス

- ・かかりつけの主治医
- ・相談支援事業所の相談支援員



在学中のお子様がいる保護者の皆様に向けたメッセージやアドバイス

- ・いつもお疲れ様です。これまで成長の節目に環境が変わることで本人の戸惑いもありましたが、親子で「挑戦心」をもって挑み、それを助け支えてくださる方々がいました。本人の成長へとつながりました。
- ・悩みなどがあった時には医師や専門知識をもった方々に早めに相談できる場所があったことで本人との関わりに迷いが少なくなりました。

